

原子力防災訓練(船舶避難)

参加者募集

参加費無料

鳥取県では、万が一、島根原子力発電所で原子力災害が発生した場合に備え、さまざまな防災対策に取り組んでいます。

このたび、原子力災害時を想定した船舶による避難訓練の参加者を募集します。

日時： **7月31日(水)**

船舶：海上自衛隊 曳船
海上自衛隊 水中処分母船1号



曳船



水中処分母船1号

境港(竹内3号岸壁)を出発し、

曳船から水中処分母船1号へ洋上で移乗し鳥取港へ避難。

鳥取港で放射性物質の付着の有無を確認する訓練を体験後、バスで帰着します。

県消防防災ヘリコプターによる船舶への隊員降下訓練も併せて実施します。

集合場所・時間：県西部総合事務所(米子市糶町1丁目160) 午前7時
境港市民交流センター(境港市上道町3000) 午前7時40分

参加申込・条件：裏面の参加申込票をご確認ください。

定員：先着20名

【米子市、境港市にお住まいの方】6/17(月)から募集開始
【上記を含む鳥取県内にお住まいの方】6/24(月)から募集開始

【スケジュール】

時間	海上自衛隊 曳船	海上自衛隊 水中処分母船1号
7:00	県西部総合事務所 集合	
7:10	県西部総合事務所 出発(バス)	
7:40	境港市民交流センター 集合	
7:50	境港市民交流センター 出発(バス)	
8:10	境港竹内岸壁 到着	
8:30	乗船、出航(竹内岸壁)	
9:30		県防災ヘリ隊員降下訓練(水中処分母船1号)
10:00	曳船→水中処分母船 移乗	
12:00		※船内にて昼食
14:00		鳥取港第3号岸壁 到着 (到着後、避難退域時検査を実施)
14:30		鳥取港第3号岸壁 出発(バス)
16:00		県西部総合事務所 到着
16:30		境港市民交流センター 到着

※スケジュールにつきましては今後変更する場合がありますので予めご了承下さい。

原子力防災訓練（船舶避難）参加申込票

1 申込方法

訓練に参加いただける方は、4に記載する留意事項をよくご確認の上、とっとり電子申請サービス、FAX又は電子メールでお申込みください。
※FAX・電子メールでのお申し込みは、3の必要事項を記載し、2の申込先へお願い致します。

（申込締切：6月28日（金）午後5時必着）

→電子申請
サービス



2 申込・問合せ先

鳥取県危機管理部 原子力安全対策課

FAX：0857-26-8805 電話：0857-26-7973

電子メール：genshiryoku-anzen@pref.tottori.lg.jp

3 申込者情報

(ふりがな) 氏名	代表者 に○	性別	生年月日	住所	バス乗車場所 (どちらかに○)
		男・女	昭和・平成 年 月 日	〒(-)	・県西部総合事務所 ・境港市民交流センター
		男・女	昭和・平成 年 月 日	〒(-)	・県西部総合事務所 ・境港市民交流センター
		男・女	昭和・平成 年 月 日	〒(-)	・県西部総合事務所 ・境港市民交流センター
代表者連絡先					
☎電話 — —				(※参加の可否や申込内容の確認のため、 連絡させて頂くことがあります)	

※ご記入いただいた個人情報には原子力防災訓練以外の目的で使用することはありません。

※お申込みいただいた代表者の方に、参加の可否をご連絡します。

4 申込にあたっての留意事項等

- お申込みいただけるのは鳥取県内に在住の方のみです。
- 募集定員は20名です。受付は先着順とし、定員に達した時点で募集を締め切らせていただきます。
- 原子力防災訓練の観点から、米子市・境港市にお住まいの方から募集を開始します。
- 小学5年生以上から参加いただけますが、小中学生が参加される場合は保護者の同伴が必要です。
- 天候等により訓練を中止又はスケジュールの変更を行う場合があります。
- 航行中は波の影響で船が動揺することがありますので、船酔いしやすい方、体調が優れない方のご参加はご遠慮ください。
- 訓練の行程上、安全のため自力歩行が難しい方は参加をお控えください。
- 安全のため、サンダルやハイヒールを履いての参加はご遠慮ください。
- 航行中、許可された範囲で船内の移動は可能ですが、通路が狭い箇所等あるため注意が必要です。また、船内の写真・動画の撮影はお控えください。
- 昼食は県でご用意します。
- 参加された方にアンケートの回答をお願いする場合があります。
- 原子力防災訓練の趣旨をご理解のうえ、ご参加ください。